I-O DATA



Hi-Vision Recording HDD

HVL1-G シリーズ

設定ガイド＆困ったときには



B-MANU201159-01

もくじ

接続

設定

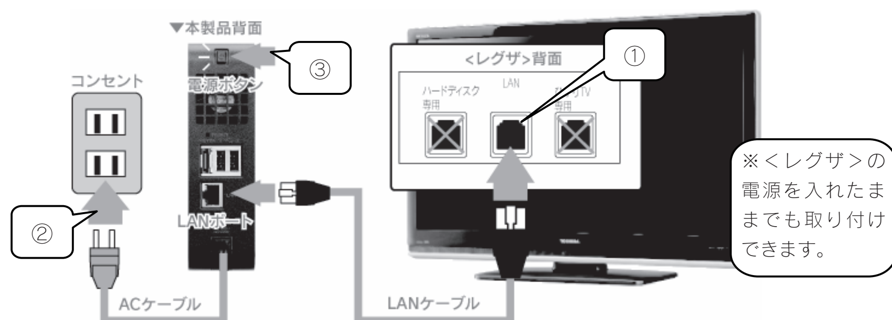
Q&A

仕様

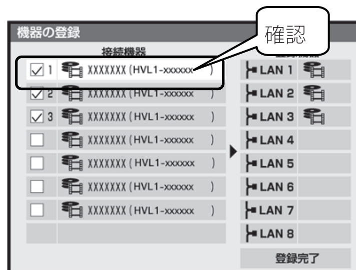
本製品を設置する

<レグザ>の録画機やダビング機としてのみ使用する場合

1　<レグザ>に本製品をつなぎます。
①添付の LAN ケーブルで、本製品を<レグザ>背面の[LAN]端子につなぎます。
②本製品の AC ケーブルをつなぎます。
③本製品の電源を入れます。



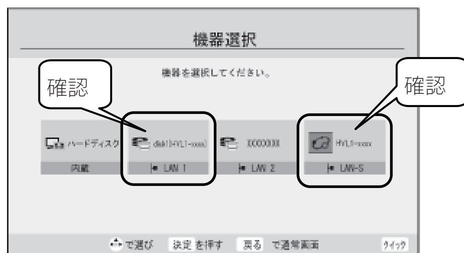
2　<レグザ>に、本製品を登録します。
①リモコンの「レグザリンク」を押します。
②▲・▼で「レグザリンク設定」を選び、[決定]を押します。
③▲・▼で「LAN ハードディスク設定」を選び、[決定]を押します。
④▲・▼で「機器の登録」を選び、[決定]を押します。
「disk1」のみチェックをつけます。
（他に表示された機器（contents など）にはチェックをつけないでください。）
登録画面が表示されますので、接続した本製品が表示されていることを確認してください。（登録画面に本製品が表示されていない場合、リモコンの[赤]ボタンを押すと再検索できます。）



3 ＜レグザ＞に、本製品が認識されたことを確認します。

①リモコンの［レグザリンク］を押して、[映像を見る/機器選択]にカーソルを合わせ、[決定]ボタンを押します。

②[機器選択]画面が表示されますので、２で登録した機器と（LAN-S）の[HVL1-xxxx]が表示されていることを確認します。



注意

●本製品の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに[HVL1-xxxxxx]の名前が設定されてます。

（xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁）

MAC アドレスは、本製品底面のシールに記載されています。

※MAC アドレスは、0～9 の数字と A～F までのアルファベットで構成されています。

次に【設定画面の開き方】（14 ページ）をご覧ください。

接続

設定

困ったときには

仕様

ネットワークに接続する場合

1 ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認します。

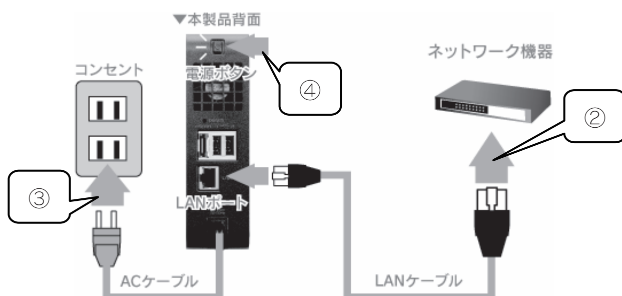
2 本製品背面の LAN ポートに添付の LAN ケーブルを接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。

注意

必ず LAN ケーブルを先に接続してください。
LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

3 AC ケーブルを電源コンセントにつなぎます。

4 本製品背面の電源ボタンを押します。

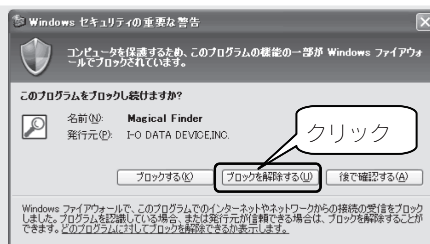


5 パソコンを起動します。

6 弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/lib)からダウンロードした Magical Finder を起動します。

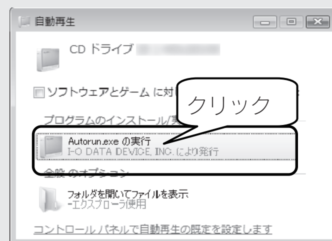
注意

右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。



注意

右の画面が表示された場合は、［Autorun.exe の実行］をクリックしてください。

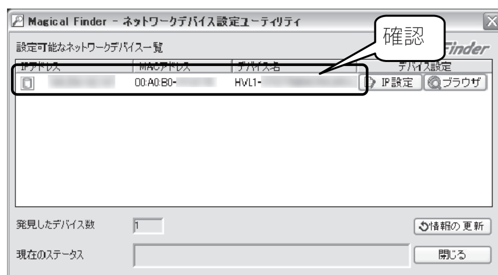


注意

右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。
その後[ユーザカウント制御]が表示された場合は、「続行する」をクリックしてください。



7　自動で本製品が検索されます。



注意

本製品が検索されない場合
●30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
●【困ったときには】（35 ページ）をご覧ください。

8　本製品の[STATUS]ランプの色を確認してください。

・STATUS ランプが緑色で点灯している場合は、手順１２（次ページ）へお進みください。
・STATUS ランプが赤く点滅している場合、[IP 設定]ボタンをクリックし、手順９（次ページ）へお進みください。

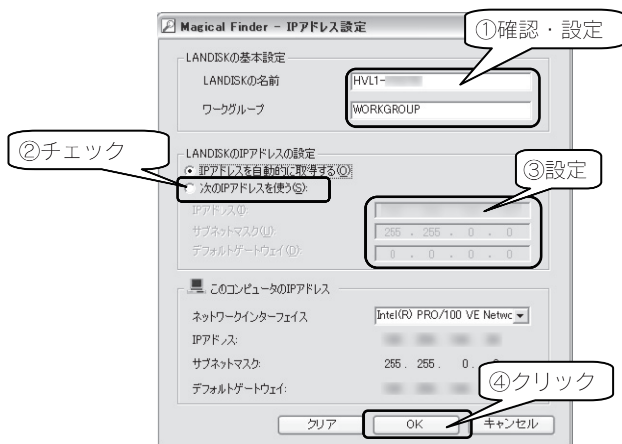
注意

ネットワーク内に DHCP サーバーがない場合、[STATUS] ランプは赤く点滅します。
ネットワーク内に DHCP サーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順を行ってください。
①いったん、本製品の［電源］ボタンを押して本製品の電源を切ります。
②DHCP サーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器が LAN ケーブルで正しく接続されていることを確認します。
③［電源］ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。

9 何も入力せずに［OK］ボタンをクリックします。



10 ［LANDISK の名前］［ワークグループ］を確認後、お使いのネットワークに合わせた IP アドレスを設定後、［OK］ボタンをクリックします。



11 表示された画面の［OK］ボタンをクリックします。

12 最初の画面に戻りますので、［ブラウザ］ボタンをクリックします。本製品の設定画面が開きますので、[はじめて設定]をクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。

次に【Windows からアクセスする】（9 ページ）をご覧ください。

Windows からアクセスする

アクセスする際のご注意

●動作環境

・パソコン本体
本製品は、「LAN インターフェイスを搭載し、TCP/IP が正常に動作するパソコン」に対応しています。

・サポート対象 OS
本製品は、以下の OS でご使用の場合のみ、サポート対象とさせていただいております。
Windows Vista®
Windows XP

・設定に必要なソフトウェア
本製品の設定には、以下の Web ブラウザーが必要です。
Internet Explorer バージョン 7.0 以上

●アクセスする際のご注意

本製品の[disk1]フォルダや[contents]フォルダを読み書きする場合は、ご使用の前に、以下の項目を必ずご確認ください。

・本製品の使用中において、データが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。（故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。）

・動作中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

・本製品のファイルやフォルダに「読み取り専用」などの属性情報を設定することはできません。

・フォルダ名、ファイル名に使用できる文字の制限
本製品で使用できるフォルダ名やファイル名には制限があります。
詳細については、【文字制限】（54 ページ）をご覧ください。

・本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数に制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。推奨する同時接続台数は 8 台までとなります。

・ファイルコピー中や動作中に増設外付用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
本製品の電源を切った後、増設用ハードディスクの ACCESS ランプを確認の上、電源を切ってください。

・［disk1］フォルダには＜レグザ＞から直接録画されたコンテンツが保存されますので、［disk1］フォルダ内のファイルは削除しないでください。削除すると、コンテンツが壊れるなど不具合の原因となります。

Windows Vista®からアクセスする

1　[スタート]をクリックし、[検索の開始]をクリック後、 ¥¥hvl1-xxxxxx と入力し[Enter]キーを押します。
※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。
※xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。
詳しくは、【注意：本製品の名前について】（5 ページ）をご覧ください。



注意　本製品が見つからない場合は、【困ったときには】（35 ページ）をご覧ください。

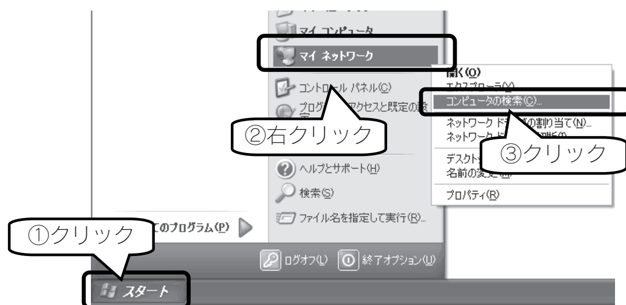
2　本製品の共有フォルダの一覧が表示されます。
[contents]フォルダをダブルクリックします。



3　表示された［contents］フォルダ内にファイルを書き込むことができます。
このフォルダ内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

Windows XP からアクセスする

1　［スタート］→［マイネットワーク］→［コンピュータの検索］をクリックします。

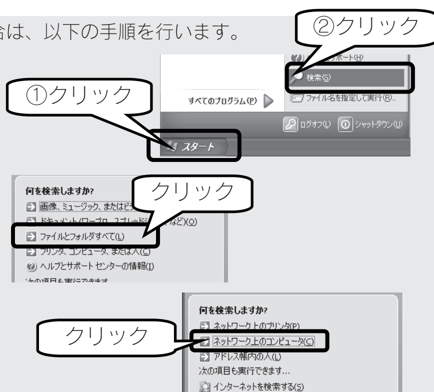


注意　表示に［マイネットワーク］がない場合は、以下の手順を行います。

①［スタート］→［検索］をクリックします。

②”何を検索しますか？”で［プリンタ、コンピュータ、または人］をクリックします。

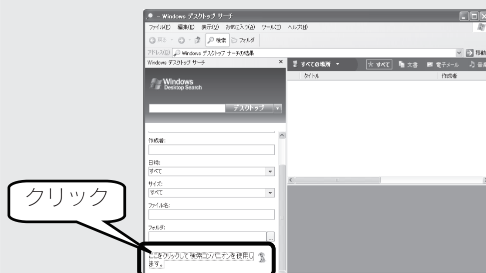
③”何を検索しますか？”で［ネットワーク上のコンピュータ］をクリックします。



注意　Windows サーチ 4.0 がインストールされている場合

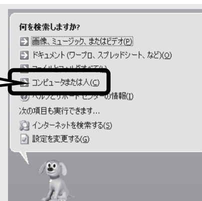
①[マイネットワーク]を右クリックして、「コンピュータの検索」をクリックします。

②画面左下の「ここをクリックして検索コンパニオンを使用します。」をクリックします。

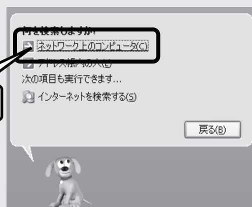


注意

③左側メニューから「コンピュータまたは人」をクリックします。

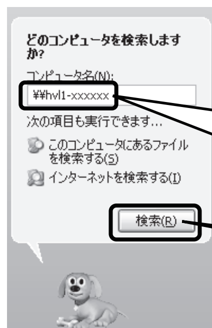


④左側メニューから、「ネットワーク上のコンピュータ」をクリックします。



⑤コンピュータ名に該当の名前を入力し、[検索]ボタンをクリックします。

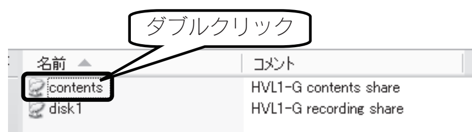
2 [コンピュータ名]に ¥¥hvl1-xxxxxx と入力し、[検索]ボタンをクリックします。
※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。
※xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。
詳しくは、【注意：本製品の名前について】（5 ページ）をご覧ください。



3 「HVL1-G series」が検索されますので、ダブルクリックします。
２つ表示された場合は、どちらかをダブルクリックします。
Windows XP から、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、2 つの「HVL1-G series」が発見されることがあります。
2 つのうちどちらかをダブルクリックしてください。
これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。

注意 本製品が見つからない場合は、【困ったときには】（35 ページ）をご覧ください。

4 [contents]フォルダをダブルクリックします。



注意 ［disk1］フォルダには<レグザ>から直接録画されたコンテンツが保存されますので、［disk1］フォルダ内のファイルは削除しないでください。削除すると、コンテンツが壊れるなど不具合の原因となります。

5 表示された［contents］フォルダ内にファイルを書き込むことができます。
このフォルダ内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

接続

設定

困ったときには

仕様

設定画面の開き方

<レグザ>から開く

1　<レグザ>のリモコンの[レグザリンク]ボタンを押します。

2　[映像を見る/機器選択]にカーソルを合わせ、[決定]ボタンを押します。

3　[LAN-S　HVL1xxxx]にカーソルを合わせ、[クイック]ボタンを押します。

4　クイックメニューの[機器情報]を選択し、本製品の[IP アドレス]の値を確認し、メモします。

5　＜レグザ＞取扱説明書内の「URL を入力して Web ページを見る」の手順にしたがって、Web ページを開きます。

４でメモした IP アドレスにしたがって、URL を入力します。
例）IP アドレスが“192.168.0.200”の場合、次のように入力します。
http://192.168.0.200/

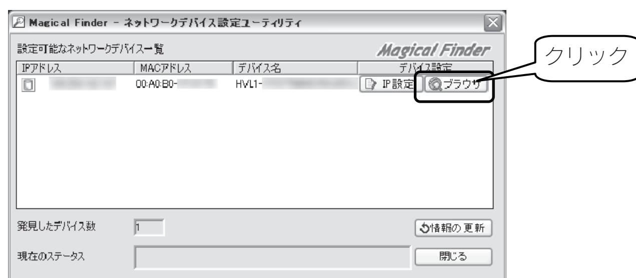
本製品の設定画面が開きます。



Windows から開く

1 Magical Finder を起動します。

2 ［ブラウザ］ボタンをクリックします。
本製品の設定画面が開きます。



注意
本製品が検索されない場合
●30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
● 【困ったときには】（35 ページ）をご覧ください。

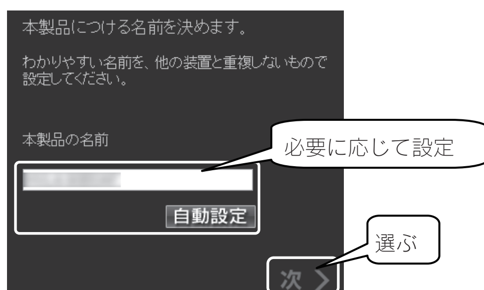
接続
設定
困ったときには
仕様

かんたん設定

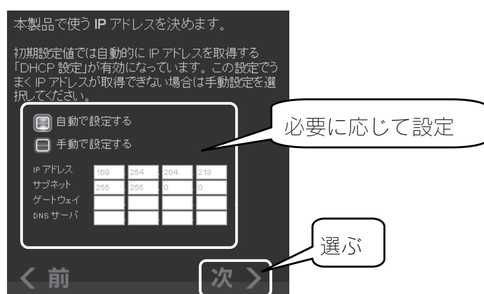
1　本製品の設定画面で、［かんたん設定］を選びます。



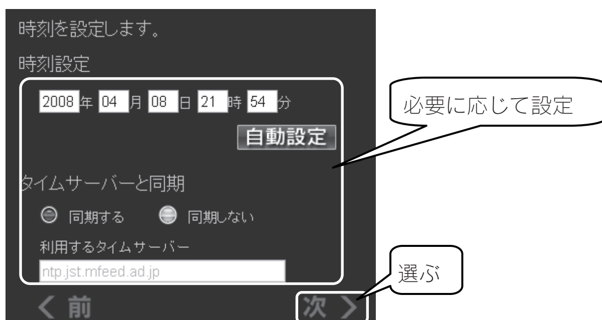
2　本製品の名前を変えることができます。
お好きな名前に変更するか、［自動設定］を選ぶと名前を自動で設定します。
［次］を選びます。



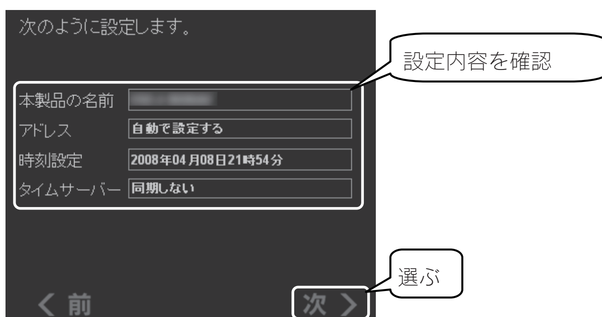
3　本製品の IP アドレスを設定できます。
初期設定値では自動的に IP アドレスを取得する設定になっていますが、IP アドレスが取得できない場合は、手動にて設定することもできます。
［次］を選びます。



4　時刻設定ができます。
手動で設定する場合は、日付時刻を入力します。
自動設定ボタンをクリックすると現在の時刻を自動入力します。
タイムサーバーを使用する場合は、[同期する]を選びます。
［次］を選びます。



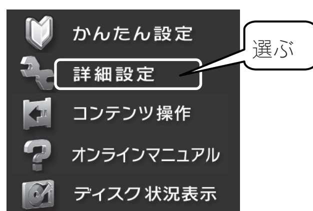
5　設定した内容の確認をして、［次］を選びます。
設定中は電源を切らないでください。



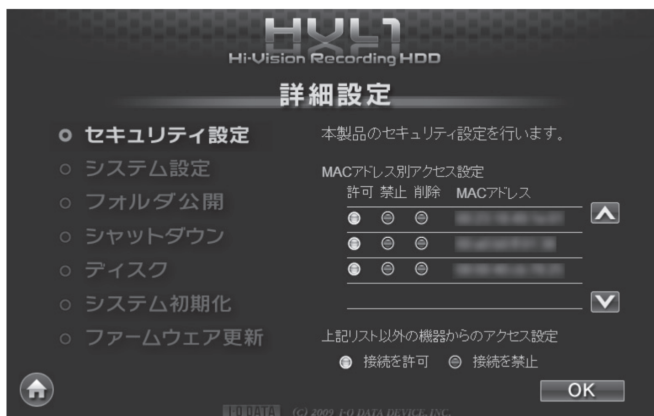
以上でかんたん設定は完了です。

詳細設定

1 本製品の設定画面で、[詳細設定]を選び、[決定]ボタンを押します。



2 本製品の設定画面が表示されます。
各項目については、次ページ以降をご覧ください。



[セキュリティ設定]

本製品のセキュリティ設定を行います。

MACアドレス別アクセス設定

許可 禁止 削除 MACアドレス

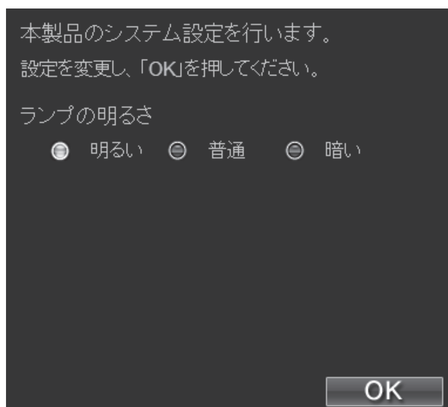
上記リスト以外の機器からのアクセス設定

接続を許可 接続を禁止

OK

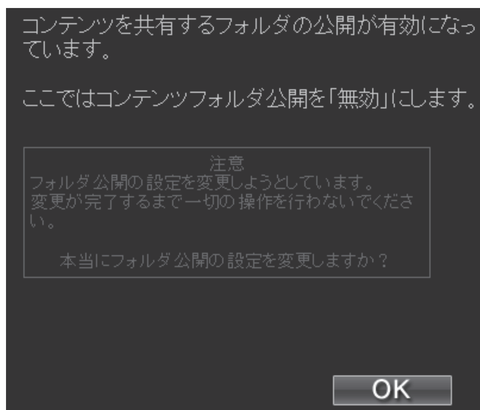
項目	設定する内容
MAC アドレス別アクセス設定	ネットワーク上で検出された機器の MAC アドレス別にアクセスの[許可]、[禁止]、[削除]の動作を設定できます。
上記リスト以外の機器からのアクセス設定	[MAC アドレス別アクセス設定]にて設定した機器以外からのアクセスを設定します。

［システム設定］



項目	設定する内容		出荷時設定
ランプの明るさ	明るい	最も明るい設定です。	明るい
	普通	若干明るさを抑えた設定です。	
	暗い	最も暗い設定です。	

［フォルダ公開］



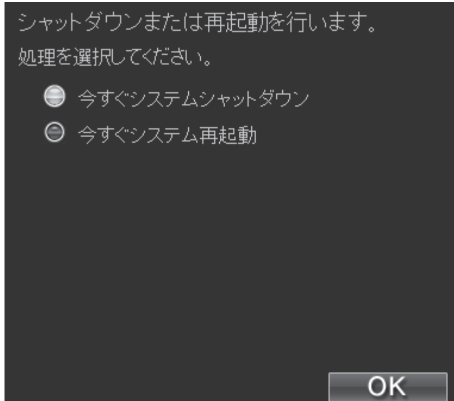
[disk1]、［contents］フォルダの公開について「有効」「無効」を設定します。

※出荷時設定は「有効」となってます。

［OK］をクリックすると設定変更を開始します。

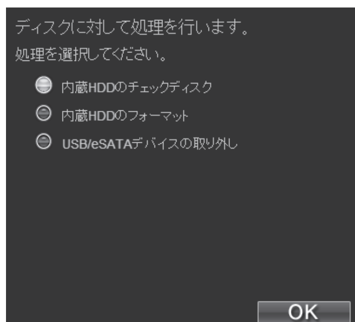
注意 「無効」に設定した場合<レグザ>から録画や再生などのアクセスができなくなります。

［シャットダウン］



項目	設定する内容
今すぐシステムシャットダウン	本製品をシャットダウンします。 シャットダウン処理ではシステムの電源を安全に切断できるよう、設定情報や管理情報の更新作業の他、一時記憶されているデータファイルの保存作業を行います。STATUS ランプが消灯するまでそのままお待ちください。［STATUS］ランプが消灯することを確認するまでは電源ケーブルを抜かないでください。
今すぐシステム再起動	本製品を再起動します。

[ディスク]

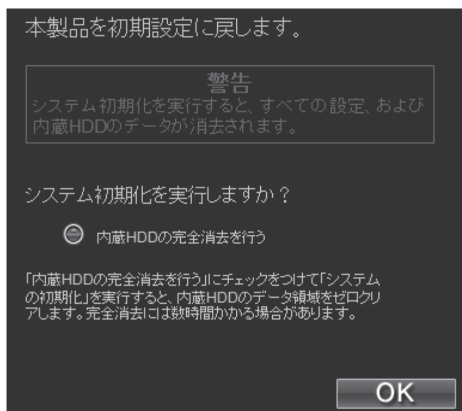


▼USB/eSATA デバイスの取り外し選択時



項目	設定する内容
内蔵 HDD チェックディスク	内蔵ハードディスクに論理的なエラーが発生してないか調査します。 エラーがあった場合には、ファイル構造を修復します。
内蔵 HDD フォーマット	内蔵ハードディスクをフォーマットします。
USB/eSATA デバイスの取り外し	接続された USB/eSATA デバイスの取り外しを行います。[取り外すデバイス]で取り外す機器を選択してください。 eSATA デバイスの場合、取り外し処理後に本製品のシャットダウンが始まります。［STATUS］ランプが消灯するまでそのままお待ちください。［STATUS］ランプが消灯することを確認するまでは、eSATA ケーブルを抜かないでください。

[システム初期化]

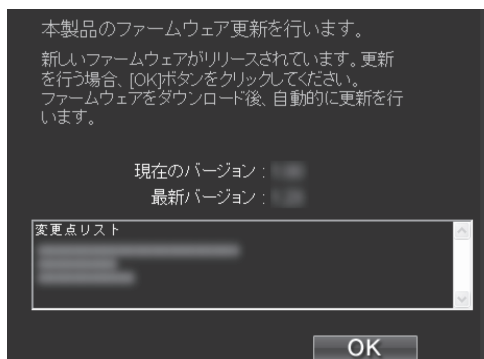


項目	設定する内容
システム初期化	すべての項目を本製品の出荷時設定値に戻し、内蔵ハードディスクもフォーマットします。 出荷時設定については、【出荷時設定】（53 ページ）をご覧ください。 [内蔵 HDD の完全消去を行う]に、チェックすると、出荷時設定へ戻すと同時に内蔵ハードディスクのデータ領域を 0（ゼロ）クリアします。 IP アドレスのみを出荷時設定に戻す場合は、【IP アドレスを出荷時設定に戻す】（47 ページ）をご覧ください。

注意

- [内蔵 HDD の完全消去を行う]をチェックした場合、内蔵ハードディスクをフォーマットした後、全てのデータ領域に 0（ゼロ）を書き込みます。
- 本製品を廃棄や譲渡される場合にチェックしてください。（本処理には、目安として、1G バイトあたり約 1 分ほど要します。）

[ファームウェア更新]



注意

- ●ファームウェア更新中は本製品の電源を切らないでください。
- ●本製品アクセス時には、ファームウェア更新は行わないでください。
- ●ファームウェア更新が終わらない場合は、【ファームウェアの更新が終わらない】（46ページ）をご覧ください。

項目	設定する内容
ファームウェア更新	「最新ファームウェア自動チェック機能」により、新しいファームウェアが公開されていた場合、本画面からファームウェアの更新を行ってください。 更新されたファームウェアがないか確認し、結果を表示します。 表示された画面にて、[OK]を選択し[決定]ボタンを押すとファームウェアのダウンロードと更新が始まります。 ファームウェアの更新には、10 分程度かかります。 ファームウェアの更新完了後、本製品は自動的に再起動します。 ※「最新ファームウェア自動チェック機能」とは、インターネットに接続され弊社ホームページへの接続が可能な場合、定期的(起動時と 1 日 1 回の 2 つのタイミング)に新しいファームウェアが公開されていないか自動的にチェックを行う機能です。新しいファームウェアが公開されている場合、[STATUS]ランプが赤４回緑 1 回を繰り返しで点滅します。

コンテンツ操作 ※パソコンからのみ操作できます。

＜レグザ＞からダビングやムーブしたコンテンツなどを、別の LAN DISK AV シリーズに再ムーブすることができます。

必要環境
ファイル転送動作を保証する Web ブラウザーとして以下が必要です。 InternetExplorer バージョン 7 以上

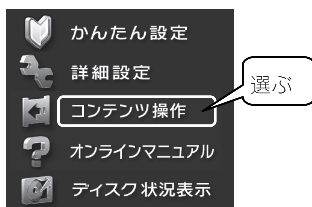
注意 ●ファイル転送ツールは JavaScript を使用しています。Web ブラウザーの環境設定で、[JavaScript の使用]を[許可]に設定してください。

●ファイル転送（アップロード）可能なフォーマット一覧
※拡張子が一致していても、形式が異なるコンテンツはファイル転送できない場合があります。

▼動画							
mpg	mpe	mpeg	m2p	vob	tts	mts	m2ts
wmv							
▼画像							
jpg	jpeg						
▼音楽							
mp3	wma	lpcm	pcm				

●起動方法と画面説明

1 本製品の設定画面で、［コンテンツ操作］をクリックします。



2　［ファイル転送］画面が表示されます。
この画面でコンテンツ操作を行います。

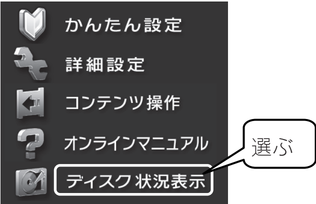


全て選択	「タイトル」内に表示されたコンテンツ全てを選択します。	
全て解除	選択したコンテンツの選択を解除します。	
転送	選択したコンテンツを指定の DMS に転送します。 複数のコンテンツを一括ムーブ・コピー操作ができます。	
削除	選択したコンテンツを削除します。 ※ファイル転送を行った転送先 HVL1 シリーズのコンテンツを削除することはできません。 ※NTFS フォーマットのハードディスクに入ったコンテンツは削除できません。	
ホーム	メニュー画面に戻ります。	
フォルダ	「dlna」「contents」フォルダ内のコンテンツを別の HVL シリーズに再ムーブすることができます。	
	「dlna」	<レグザ>からダビングや/ムーブされたコンテンツが保存されています。
	「contents」	パソコンから保存された DLNA コンテンツが保存されています。
	「USB1」 「USB2」 「eSATA1」	本製品に接続されているデバイスが表示されます。
タイトル	コンテンツの一覧が表示されます。	
ページ移動ボタン（画面下部）	コンテンツは 1 画面に 20 個まで表示できます。 20 個を超える場合は複数のページに分割されて表示されますので、ページ移動ボタンをクリックし、ページを移動させ表示します。	

ディスク状況表示

内蔵 HDD および接続されている USB/eSATA ハードディスクの状況を表示します。

1　本製品の設定画面で、［ディスク状況表示］を選びます。



2　［ディスク状況表示］画面が表示されます。



総容量	ボリューム全体の容量を表示します。 （1Kbyte ＝ 1000byte にて算出しています。）
空き容量	ボリュームの空き容量を表示します。%は空き容量の占める割合です。（1Kbyte ＝ 1000byte にて算出しています。）

共有フォルダを使う

ネットワーク上での本製品の表示

本製品へのファイルの読み書き（アクセス）は、ネットワーク上から行います。
ネットワーク上から本製品に作成されている共有フォルダを通して、ネットワーク上のパソコンからファイルを共有することができます。また、<レグザ>で録画したコンテンツの保存先になることができます。共有フォルダに対してアクセス権限などの設定はできません。

●共有フォルダ名

・disk1→<レグザ>で録画したコンテンツを保存するためのフォルダです。
・contents→パソコンから DLNA 公開用のコンテンツを入れてください。

共有フォルダにアクセスする

1　ネットワークにログオンします。

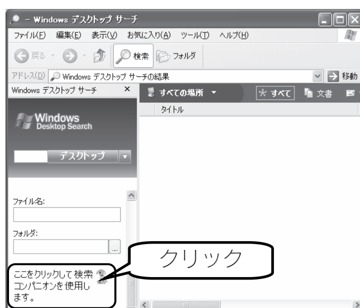
2　●Windows Vista®の場合
[スタート]をクリックし、[検索の開始]をクリック後、 ¥¥hvl1-xxxxxx と入力し[Enter]キーを押します。
※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。
※xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。
詳しくは、【注意：本製品の名前について】（5 ページ）をご覧ください。

この後、5へお進みください。

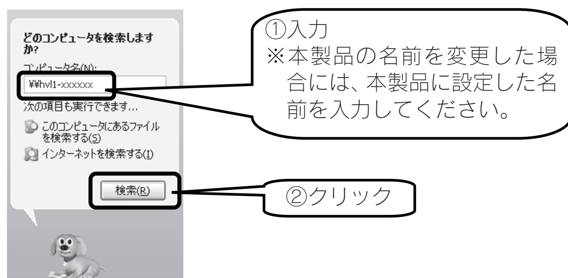


注意　本製品が見つからない場合は、【困ったときには】（35 ページ）をご覧ください。

●Windows XP の場合
[スタート]→[マイネットワーク]→[コンピュータの検索]で、[コンパニオンを使用します。]をクリックします。



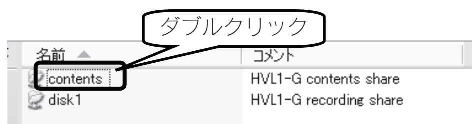
3 ●Windows XP の場合のみ　(Windows Vista®の場合は、*5*へお進みください。)
[コンピュータ名]に、 ¥¥hvl1-xxxxxx と入力し[検索]ボタンをクリックします。
※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。
※xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。
詳しくは、【注意：本製品の名前について】(5 ページ)をご覧ください。



4 ●Windows XP の場合　(Windows Vista®の場合は、*5*へお進みください。)
「HVL1-G series」が検索されますので、ダブルクリックします。
２つ表示された場合は、どちらかをダブルクリックします。
Windows XP から、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、2 つの「HVL1-G series」が発見されることがあります。
2 つのうちどちらかをダブルクリックしてください。
これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。

注意 本製品が見つからない場合は、【困ったときには】(35 ページ)をご覧ください。

5 [contents]フォルダをダブルクリックします。



表示された共有フォルダ内にファイルを書き込むことができます。

接続
設定
困ったときには
仕様

USB/eSATA 機器を接続する

接続できる USB/eSATA 機器

USB/eSATA 接続ハードディスクを増設することにより、USB/eSATA 接続ハードディスクに記録されている DLNA 対応コンテンツをネットワーク上に公開することができます。

注意
- ●最新の対応機器については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)をご覧ください。
- ●接続した USB/eSATA ハードディスクに＜レグザ＞の番組を録画、ダビングはできません。

●接続できるハードディスク

・HDZ-UE シリーズ	・HDW-UE シリーズ	・HDW-UES シリーズ	・HDX-UE シリーズ
・HDA-iU シリーズ	・HDOT-U シリーズ	・HDOT-UE シリーズ	・HDH-U シリーズ
・HDH-UL シリーズ	・HDH-UEH シリーズ	・HDH-US シリーズ	・HDH-USR シリーズ
・HDA-iUM シリーズ	・HDPX-U シリーズ	・HDPX-SU シリーズ	・HDC-U シリーズ
・HDC-UX シリーズ[※1]	・HDH-SU シリーズ	・RHD2-U シリーズ	・RHD-UX シリーズ[※1]
・USB2-iVDR シリーズ	・HDCN-U シリーズ	・HDCS-U シリーズ	・HDPS-U シリーズ
・HDPG-SU シリーズ	・HDPG-SUX シリーズ	・HDP-U シリーズ	・HDP-US シリーズ
・HDH-USR2 シリーズ	・RHD4-UXE シリーズ[※1]		

※1 USB 接続、eSATA 接続ともに対応しています。
※iSPIS 対応ハードディスクを本製品でご利用いただく場合、iSPIS 機能は使用できません。
※バスパワーモードのハードディスクは、使用できません。ハードディスクはセルフパワーモードでご利用ください。
※HDOT-U シリーズ、HDOT-UE シリーズのワンタッチボタンは利用できません。
※RHD2-U シリーズのマルチディスクモードでご使用になる場合は、HDD 1 のみ本製品で使用できます。
※HDPG シリーズについては、シングルモードのみ使用できます。

●接続ハードディスクの対応フォーマット

FAT32、NTFS

USB/eSATA 接続ハードディスクの接続方法

●ハードディスクを接続する

注意 ●本製品に接続できるハードディスクは、FAT 形式または NTFS 形式のハードディスクのみです。

1 本製品の電源が入っていることを確認します。
※本製品の電源が入っている状態で接続できます。

2 接続ハードディスクの電源を ON にします。
接続ハードディスクの電源の入れ方については、接続ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
電源連動機能がある場合は、電源ボタン（スイッチ）を［AUTO］または［ON］にします。本製品に接続するまで、接続ハードディスクの電源は入りませんが、問題ありません。
※電源連動機能については、接続ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

3 本製品背面の各ポートに、接続ハードディスクを接続します。

注意
●必ず、接続ハードディスクの電源を入れてから、本製品に接続してください。
●本製品の［STATUS］ランプが点滅中は、接続ハードディスクを接続しないでください。
本製品の電源が入っている状態で接続できますが、[STATUS]ランプが点滅中に接続ハードディスクを接続しないでください。
本製品にすでに別の接続ハードディスクを接続している場合にも、その接続ハードディスクのランプをご確認ください。
●ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、[STATUS]ランプが赤く点滅した場合は、接続ハードディスクが FAT/NTFS 形式ではありません。Windows パソコンに直接接続してフォーマットしてください。

4 お使いの<レグザ>やパソコンから、接続した接続ハードディスク内のコンテンツが再生できることをご確認ください。

以上で接続は完了です。

●接続ハードディスクを取り外すには

接続ハードディスクを取り外す場合は、設定画面より取り外し操作を行います。
取り外し時は、本製品の電源が入っている状態で取り外すことができます。
下記の手順にしたがって取り外しを行ってください。

注意
●コンテンツ公開中に、本製品に接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品や接続ハードディスクの電源を切らないでください。コピーの処理が正常に行われません。
●本製品動作中に以下の手順を行わずに取り外すと、データの破損や本製品や接続ハードディスクの故障の原因になります。
何らかの理由で、接続ハードディスクにアクセスが行われている最中に、取り外すとデータが破損するばかりか、本製品や接続ハードディスクの故障の原因になります。必ず以下の手順を行ってください。
●本製品をシャットダウンし、本製品の電源を切った後に取り外すこともできます。

1 本製品の設定画面を開き、[詳細設定]→[ディスク]画面で、[USB/eSATA デバイスの取り外し]を選択し、[OK]をクリックします。

2 次の画面で取り外しを行うデバイスを選択して[OK]をクリックします。
[STATUS]ランプが点滅します。しばらくお待ちください。

3

USB の場合	eSATA の場合
①[STATUS]ランプが点灯し、“ピー”と鳴ったら、接続ハードディスクを本製品から取り外します。 ②接続ハードディスクの電源を切ります。 電源連動機能がある場合は、ケーブルを取り外した時点で、電源が切れます。 ※接続ハードディスクの電源の切り方については、接続ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。	取り外し処理後に本製品のシャットダウンが始まります。 [STATUS]ランプが点滅→消灯したことを確認し、eSATA ケーブルを取り外してください。

以上で作業は完了です。

注意
●USBデバイスの場合、本製品の電源が入っている状態で本製品から取り外すことができます。
●データが破損する可能性がありますので、<レグザ>からの録画やダビングなど本製品へのアクセス時に、接続ハードディスクを接続したり、取り外すことはしないでください。

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

●弊社ホームページの[製品 Q&A]もご覧ください

http://www.iodata.jp/support/product/HVL1-g/

サポート Web ページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと３回鳴った

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスを取得できていない。 ※本製品の IP アドレスの設定が、自動取得(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200 に設定されます。

原因	DHCP サーバーのない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。

原因	本製品で取り扱えない機器が接続された。
対処	本製品で取り扱えない機器あるいはフォーマット形式の装置が本製品に接続した場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する接続した機器を本製品から取り外してください。しばらくすると緑点灯に変わります。

原因	<レグザ>の LAN 端子に直接本製品を接続しているため、DHCP サーバーがない。
対処	<レグザ>と本製品を直接接続した場合は、DHCP サーバーがなくてもそのままご使用頂けますので、特に対処の必要はありません。 STATUS ランプの点滅が気になる場合は、電源ボタンを軽く押すことで緑点灯とすることができます。

セットアップ時のトラブル

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

対処	ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデム」「Windows NT 系のサーバー」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使用している可能性があります。 以下の【方法１】あるいは【方法２】などの手順で確認できます。

【方法１】パソコンの IP アドレスの設定で確認する

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。
（IP アドレスの設定が”DHCP サーバーから取得する”設定になっていて正常に LAN 内で使用できている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。）

●Windows Vista®の場合

1 ［スタート］→［ネットワーク］をクリックします。

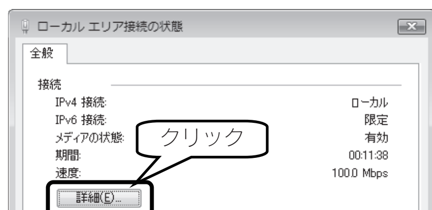
2 ［ネットワークと共有センター］をクリックします。



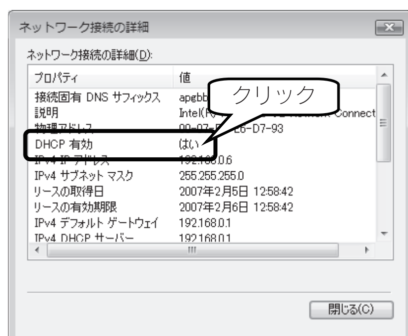
3 ［状態の表示］をクリックします。



4 [詳細]をクリックします。



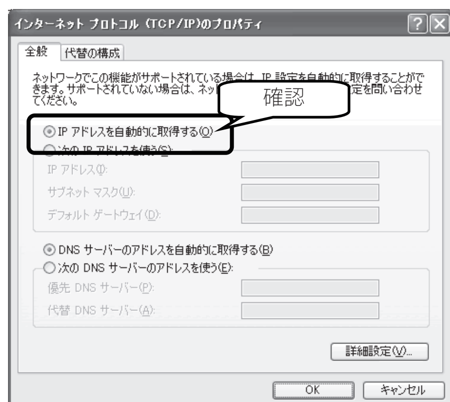
5 [DHCP 有効]欄に[はい]と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。



●Windows XP の場合

1 パソコンの IP アドレスを確認できる画面を開きます。

2 パソコンの IP アドレスの設定が、[IP アドレスを自動的に取得(する)]となっている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあると考えられます。



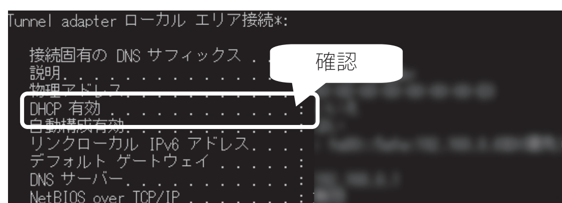
【方法２】Windows 標準添付のツールを使って確認する

Windows 標準添付のツールで DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

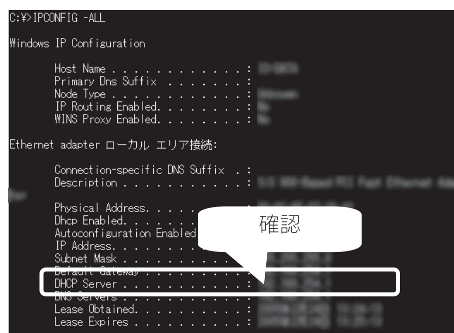
1　［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。

2　IPCONFIG　–ALL
　（G と-の間にスペースが入ります）
と入力して［Enter］キーを押します。

3　●Windows Vista®の場合
DHCP 有効の欄に「はい」が表示されている場合は、DHCP サーバーがあります。



●WindowsXP の場合
［DHCP Server］欄にアドレス（DHCP サーバーのアドレス）が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。



DHCP サーバーがあるのに、STATUS ランプが赤く点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※本製品の DHCP クライアント設定が on(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが赤く点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200 に設定されます。

原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると緑点灯に変わります。

原因	内蔵ボリュームにエラーが発生した。
対処	［ディスク状況表示］画面で、内蔵ボリュームの状態を確認してください。

[本製品の名前]を変更したい

対処	[かんたん設定]画面で設定できます。

ACT/LINK ランプが点灯あるいは点滅していない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが緑色に点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか（背面の［ACT/LINK］ランプが点灯または点滅しているか）確認してください。 本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

原因	接続先のネットワーク機器の電源が入っていない。
対処	本製品接続先のネットワーク機器（ルーターやハブなど）の電源が入っているかご確認ください。

Magical Finder で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが緑色に点灯しているか）、接続ケーブルがLAN に接続されているか（背面の［ACT/LINK］ランプが点灯または点滅しているか）確認してください。 本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。
対処	他のパソコンで Magical Fainder を起動してご確認ください。

原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。 また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、「MagicalFinder」をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。 （詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）。 ＜参考：Windows Vista®の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞ ①あらかじめ「MagicalFinder」をパソコンにインストールします。 解凍したファイルの[INSTALL]フォルダ内[SETUP.EXE]を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。 ②［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。 ③［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。 ④一覧から「MagicalFinder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 ⑤「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。 以上で設定は完了です。 ＜参考：Windows XP ServicePack2 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞ ①あらかじめ「MagicalFinder」をパソコンにインストールします。 解凍したファイルの[INSTALL]フォルダ内[SETUP.EXE]を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。 ②［スタート］-［コントロールパネル］-［セキュリティセンター］を開きます。 ③一番下の「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。 ④［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。 ⑤一覧から「MagicalFinder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 ⑥「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。 以上で設定は完了です。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（［STATUS］ランプが緑色に点灯※するまで）お待ちください。 ※DHCP サーバーの無いネットワークにはじめて接続した場合は、赤く点滅します。

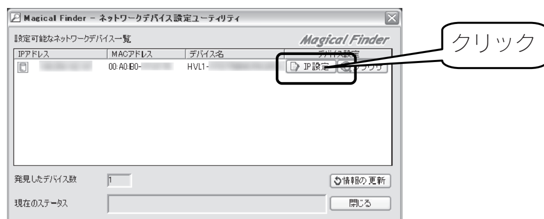
パソコンの IP アドレスがわからない

対処	添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。方法は、以下をご覧ください。

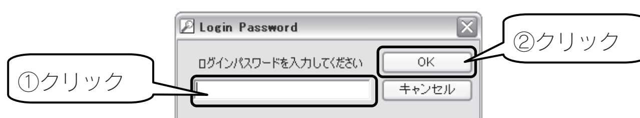
パソコンの IP アドレスを確認する

1 Magical Finder を起動します。

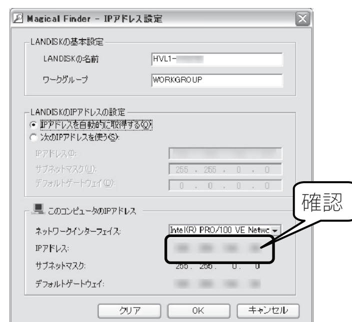
2 ［IP 設定］ボタンをクリックします。



3 管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK]ボタンをクリックします。



4 表示された［IP アドレス設定］画面の［このコンピュータの IP アドレス］で確認できます。



接続

設定

困ったときには

仕様

本製品へアクセス時のトラブル

[コンピュータの検索]で［HVL1］が見つからない

原因	共有サービスが有効になっていない。
対処	設定画面の［ネットワーク］→［サービス設定］で、「Microsoft ネットワークファイル共有」にチェックが入っていることを確認してください。 また、［共有管理］→［共有フォルダ一覧］より、アクセスしたい共有フォルダの「Microsoft ネットワークファイル共有」が有効になっていることもご確認ください。

原因	ネットワークの参照に時間がかかっている。
対処	［表示］メニュー→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか（背面の［ACT/LINK］ランプが点灯または点滅しているか）確認してください。(本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「HVL1-xxxxxx」）や本製品の IP アドレス（初期値は「192.168.0.200」）を使用できるように設定してください。 詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

原因	本製品の IP アドレスを変更後、検索しようとしている。
対処	パソコンを一度再起動する必要があります。 Windows が以前の情報を保持しているため、再起動で保持している情報を一度クリアする必要があるからです。

原因	Windows のネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正しく行えない。
対処	・設定画面が開けることをご確認ください。 ・LAN アダプターが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、各 LAN アダプターの取扱説明書をご覧ください。）

原因	パソコン側の名前解決がうまくいっておらず、［HVL1-xxxxxx］(コンピュータ名)の文字での検索では検索されない。
対処	本製品に設定されている IP アドレス（出荷時は、192.168.0.200）を入力して検索してみてください。

原因	お使いのネットワークの IP アドレスのセグメントが本製品の IP アドレスと異なっている。
対処	▼ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの環境の場合 →一旦本製品の電源を入れ直していただき、再度検索できるかどうかお試しください。 ▼DHCP サーバーがない場合 →本製品の IP アドレスをお使いのネットワークに合った IP アドレスに変更してください。

原因	すでに HVL1-G シリーズ [1] を使用しているネットワーク内へ本製品を導入する際に、本製品の名前が重複している。
対処	本製品を複数台使用する場合は、本製品の名前をすでに導入済みの HVL1-G シリーズと重複しない名前に変更する必要があります。 変更方法は、【かんたん設定】（16 ページ）をご覧ください。

原因	本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。
対処	本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。

設定画面のトラブル

設定画面で文字が入力できない

原因	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。 本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。【文字制限】（54 ページ）をご覧ください。

設定画面上から入力できる文字制限について

対処	【文字制限】（54 ページ）をご覧ください。

「現在システムは処理中です。しばらく待ってから操作してください。」と表示された

原因	設定処理実行中に他の設定をしようとした。
対処	他の設定処理が実行中でないかご確認ください。 設定処理の途中で別の設定を行おうとすると上記メッセージが表示されることがあります。

原因	ファームウェアが正常に動作していない。
対処	①いったん、本製品の電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。 ②本製品の初期化を行ってみてください。【［システム初期化］】（24 ページ）

設定画面の動作が遅い

原因	ファイル転送中、アクティブリペア中など、本製品の処理動作中である。
対処	以下の動作中は、本製品の操作・動作が遅くなる場合あります。 処理が終了するまでお待ちください。 ・アクティブリペア中　・ファイル再生中/ムーブ中　・DLNA データベース更新中 ・スピンアップ中

ファームウェアの更新が終わらない

対処	本製品の電源ボタンを押して、電源をいったん切り、再起動してください。 その後、再度ファームウェアの更新を行ってください。

本製品の IP アドレスについて

本製品に設定した IP アドレスを忘れた
本製品に設定されている IP アドレスを調べたい

注意
DHCP サーバーのあるネットワークで確認する場合は、毎回以下の手順を行うことをおすすめします。
DHCP サーバーは常に固定の IP アドレスを割り当てるわけではありません。
下記手順で一旦確認できた IP アドレスも、本製品の電源を入れなおした後や DHCP サーバーを再起動した場合などには、本製品やパソコンに割り当てられた IP アドレスが変更されている場合もあります。

対処	DHCP サーバーのあるネットワークの場合、DHCP サーバー内の情報から確認します。 ご使用のブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーが、本製品に割り当てた IP アドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCP サーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。

対処	本製品から LAN ケーブルを取り外した後、以下の方法で、本製品の IP アドレスを出荷時設定（192.168.0.200）に戻してください。 出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。

●IP アドレスを出荷時設定に戻す

本製品背面の［RESET］ボタンで IP アドレスのみを出荷時設定に戻す（初期化する）ことができます。万一、本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合に行います。

注意
●初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
●ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）
●ネットワークに接続したまま行うことができます。
●［STATUS］ランプ点灯・点滅中には、初期化しないでください。

1. 本製品の電源が入っていること（［STATUS］ランプが点灯していること）を確認します。電源が入っていない場合は、電源を入れます。
2. 背面の RESET ボタンを先の細いもので約 2 秒以上、STATUS ランプが点滅し、「ピッ」と音が鳴るまで押します。
3. ［STATUS］ランプが緑色点灯（DHCP サーバーがある場合）、または、赤色点滅（DHCP サーバーがない場合）すれば、初期化完了です。

ランプやブザーについて

ACT/LINK ランプが点灯または点滅していない

対処	【ACT/LINK ランプが点灯あるいは点滅していない】（41 ページ）をご覧ください。

ランプの動作について知りたい

対処	【ランプの表示】（52 ページ）をご覧ください。

STATUS ランプが赤く点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが赤く点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200　に設定されます。

原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを固定の IP アドレスに設定してください。 【かんたん設定】（16 ページ）

原因	本製品が取り扱えない USB/eSATA 機器が USB/eSATA ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB/eSATA 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB/eSATA ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB/eSATA 機器を本製品から取外してください。しばらくして緑点灯に変わります。

原因	<レグザ>の LAN 端子に直接本製品を接続しているため、DHCP サーバーがない。
対処	<レグザ>と本製品を直接接続した場合は、DHCP サーバーがなくてもそのままご使用頂けますので、特に対処の必要はありません。 STATUS ランプの点滅が気になる場合は、電源ボタンを軽く押すことで緑点灯とすることができます。

内蔵や USB/eSATA 接続ハードディスクについて

USB/eSATA 接続ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について

対処	FAT 形式や NTFS 形式のハードディスクはそのまま Windows パソコンでご利用になれます。 再度フォーマットする場合などのフォーマット方法の詳細については、お使いの USB/eSATA 接続ハードディスクの取扱説明書を参照してください。 ※フォーマットするとデータはすべて消去されます。

デフラグ機能はありますか？

対処	本製品にデフラグ機能はありませんが、本製品に採用しているファイルシステムの仕様により、フラグメンテーション（断片化）が起こりにくい仕様となっています。

タイムサーバー機能使用時のトラブル

タイムサーバーとの同期が行われない

原因	［IP アドレス設定］で正しく設定されていない。
対処	設定画面の[かんたん設定］→［IP アドレス設定］で、「ゲートウェイ」と「DNS サーバ」を設定してください。 入力するゲートウェイと DNS サーバの IP アドレスは、＜レグザ＞で設定されているものと同じ値に設定し、タイムサーバーとの同期ができるかどうかご確認ください。

仕様

LAN	コネクター	RJ45×1
	転送規格	IEE802.3ab、IEEE802.3u、IEEE802.3 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)
	最大転送速度	1000/100/10Mbps
	MDI/MDI-X	自動切換
USB ポート	コネクター	USB A コネクター×２
	転送規格	USB 2.0(1.1 含む)
	最大転送速度	480Mbps（理論値）
	ポート仕様	ホスト
eSATA ポート	コネクター	eSATA×1
	転送規格	Serial-ATA ２
	最大転送速度	3.0Gbps
電源	定格	AC 100V、50/60Hz
消費電力		17W(typ)
動作環境	使用温湿度	5～35℃、10～85%（結露無きこと）
	保存温湿度	-10～60℃、5～95%（結露無きこと）
対応規格	EMC	VCCI ClassA
	環境	RoHS 指令
設置	設置方向	縦
外形	サイズ	42(W) x 147(H) x 195(D)mm
	質量	約 1.4kg

ランプの表示

［STATUS］ランプ	緑点灯	システムが使用可能な状態を示します。
	緑点滅	システムが設定処理を行っている状態を示します。 この状態では設定画面を操作することはできません。
	赤点滅	直近の処理がエラー終了したことを示します。
	消灯	システムの電源が入っていないことを示します。

状態・操作	ブザー	STATUS	状態
電源コンセント接続時	なし	消灯	本製品の電源が入っていない状態です。
電源投入後	ピポ	緑点滅	システム起動中
	「ピピピピ…」（繰り返し）	赤点滅	システム起動不能状態です。 内蔵ディスクのシステムが読み取れない場合に発生します。内蔵ディスクが接続されていることを確認してください。
システム起動直後	ピー	緑点灯	正常起動完了
	ピーピーピー	赤点滅	IP アドレス取得エラーが発生しています。
システムシャットダウン時	なし	緑点滅	システムシャットダウン処理中です。
設定操作を実行中	なし	緑点滅	本製品の設定画面による設定操作を実行中です。STATUS ランプが点滅中は Web 設定画面による操作はできません。
内蔵ボリュームに対する操作（フォーマット、チェックディスク）を実行中	なし	緑点滅	内蔵ボリュームに対する操作（フォーマット、チェックディスク、メンテナンス）を実行中は共有サービスが停止しており、共有フォルダのファイルにアクセスすることはできません。
設定完了時	ピッ	緑点灯	実行中の設定が完了しました。
フォルダ公開設定	ピーピー	緑点灯	フォルダ公開の有効/無効の設定が完了しました。
USB/eSATA デバイスを接続した	なし	緑点滅	USB/eSATA デバイスの接続処理中です。
USB/eSATA デバイス接続処理完了	ピッ	緑点灯	USB/eSATA デバイスの接続処理成功。
	ピーピーピー	赤点滅	USB/eSATA デバイスの接続処理失敗。

出荷時設定

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">初期値</th></tr>
<tr><td>システムバージョン</td><td colspan="3">1.00（出荷時期による）</td></tr>
<tr><td>MAC アドレス</td><td colspan="3">00:A0:B0:xx:xx:xx（製品ごとに異なる）</td></tr>
<tr><td colspan="4">◆かんたん設定</td></tr>
<tr><td>本製品の名前</td><td colspan="3">HVL1-xxxxxx(製品ごとに異なる)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">IP アドレス設定</td><td colspan="3">IP アドレスを自動取得する（DHCP）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">自動取得失敗時</td><td>IP アドレス</td><td>192.168.0.200
AutoIP 自動割当
169.254.xxx.xxx</td></tr>
<tr><td>サブネット</td><td>255.255.255.0
AutoIP アドレスは
255.255.0.0</td></tr>
<tr><td>ゲートウェイ</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>DNS サーバ</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>時刻設定</td><td colspan="3">手動設定</td></tr>
<tr><td colspan="4">◆詳細設定</td></tr>
<tr><td rowspan="2">セキュリティ設定</td><td colspan="2">MAC アドレス別アクセス設定</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">上記リスト以外の機器からのアクセス設定</td><td>接続を許可</td></tr>
<tr><td>システム設定</td><td colspan="2">ランプの明るさ</td><td>明るい</td></tr>
<tr><td>フォルダ公開</td><td colspan="2">フォルダ公開の設定</td><td>有効</td></tr>
</table>

文字制限

項目名	文字数	備考
本製品の名前	14 文字以下	・設定画面上で使用できる文字 半角英数文字(0～9 A～Z a～z) アンダーバー _ ハイフン – （数字やハイフン - で始まる文字列は不可）
ファイルやフォルダ名	半角 255 文字(全角 85 文字)まで	・使用する文字種によっては左記の数値よりも少なくなる場合があります。 ・Windows Vista®では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。よって Windows Vista®でのみ使用可能な文字を共有フォルダに保存するファイル名やフォルダ名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。 Windows Vista®と従来のWindowsとの間で文字表示について問題が発生しないようにするには Micorosoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx)にある、「Microsoft Windows Vista における JIS X 0213:2004(JIS2004)対応について」の「フォントパッケージと JIS2004 への移行シナリオ」に沿った対応をして頂く必要があります。

対応ファイルフォーマット

本製品の以下のファイルフォーマットに対応しています。
ただし、再生にはプレーヤー側も該当のファイルフォーマットの再生に対応している必要があります。

▼動画							
3gp	avi	divx	mp4	m4v	mov	mpg	m2p
mpe	mpeg	vob	tts	asf	dvr-ms	wmv	mts
m2ts							
▼画像							
bmp	gif	jpg	jpeg	png	tiff	tif	
▼音楽							
ogg	lpcm	pcm	m4a	m4b	mp3	wav	wma

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News その他」をご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

② それでも解決できない場合は以下までお問い合わせください。

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター

電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**

インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）

※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」の「保証適応外」の内容に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。）

●修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

①メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号(S/N)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

②これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの
返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］、日中にご連絡できるお電話番号、ご使用環境（機器構成、OS など）,故障状況（どうなったか）

③修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

④修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　　アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

MEMO

MEMO

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

HVL1-G シリーズ 設定ガイド＆困ったときには
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

地球環境を守るため、再生紙を使用しています。

